

## 主体的・対話的で深い学びにおける ICT の活用法（まとめ）

	タブレット PC や授業支援ソフトに関すること	電子黒板やデジタル教科書に関すること	各種ソフト（パワーポイント等）やその他（ICT 機器などなんでも）のこと
<b>主体的な場面</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、発表ノートを配付し、学習課題に対する自分の考えや目標などをまとめさせる。 (数学、音楽、理科)</li> <li>● 教師用タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、各生徒の考えを確認する。 (数学、音楽、理科)</li> <li>● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、実験や観察の様子をカメラで撮影させたりビデオで記録させたりする。 (数学、理科)</li> <li>● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、口の開け方や声の大きさ、姿勢、運指など演奏方法の確認をさせる。 (音楽)</li> <li>● 紹介文やスキット作成、スピーチ原稿などを作成する際に、インターネットを用いて情報収集したことを活用して、授業支援ソフト（発表ノート）にまとめさせる。 (英語)</li> <li>● タブレット PC と授業支援ソフトのカメラ機能を用いて自分の発表の様子をビデオで記録し、振り返ることで改善につなげさせる。 (英語)</li> <li>● タブレット PC を用いて自分の動きを撮影させ、動画で自分の動きを確認させる。 (体育)</li> <li>● 自画像などを制作するときに、タブレット PC で自分の写真を撮影させ、その写真を見ながら下絵を描かせる。 (美術)</li> <li>● タブレット PC を用いて自分の考えをまとめさせたり、振り返ったりさせる。 (家庭)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子黒板を用いて、前時までに学習した内容から、本時の学習内容に関係した内容を提示して確認させる。 (数学、音楽、理科)</li> <li>● 電子黒板とタブレット PC、スマートフォンを接続して、課題に関する資料の画像や動画を視聴させ、参考にさせたり、関心や意欲を高めさせたりする。 (保健、数学、音楽、理科)</li> <li>● 電子黒板を用いて、デジタル教科書の内容や本時の学習内容に関する画像や動画を提示し、自分の考えや仮説をまとめさせる。 (社会)</li> <li>● 電子黒板を用いて、各自の考えを全体に提示する。 (音楽、理科)</li> <li>● 電子黒板を用いて、前時までに学習した内容を確認し、本時のねらいを確認させる。 (音楽)</li> <li>● 電子黒板を用いて楽曲に関する画像や動画を視聴させ、学習に対する関心・意欲を高めさせる。 (音楽)</li> <li>● 前時までに学習した内容と本時の学習内容に関係した内容につなげるため、デジタル教科書の文法のまとめを使って確認させる。 (英語)</li> <li>● 教科書 writing のところを活用して授業で学習した内容を使って英作文をさせる。 (英語)</li> <li>● 電子黒板を用いて課題に関する画像や動画、プレゼンテーションソフトを用いて課題を確認させたり、書き込みをさせたりして課題の焦点化を図る。 (英語)</li> <li>● 電子黒板と PC やスマートフォンを接続し、課題に対する表現の技法などを写真や動画で提示する。 (美術)</li> <li>● 電子黒板等を使って、課題に対する具体的なイメージを広げ、理解を深めさせる。 (家庭)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、学習課題の提示を行う。 (技術、数学、理科、体育、社会)</li> <li>● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、前時までに学習した内容から、本時の学習内容に関係した内容を提示して確認させる。 (数学、理科、英語、保健、体育、社会)</li> <li>● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、学習課題に関する画像や動画を視聴させる。 (数学、理科、英語、体育、社会)</li> <li>● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、楽曲に関連する画像や動画を視聴させ、考えをまとめさせる。 (音楽)</li> <li>● CD 機器を用いて、模範となる演奏と、自分で録音や録画したものと聞き比べ現状を把握させる。 (音楽)</li> <li>● パワーポイントなどを使って、どのような作品を制作するのかイメージをつかませる。 (美術)</li> <li>● YouTube などのコンテンツから表現技法の例を写真や動画で視聴させ、どのような技法で表現していけばよいのかをつかませる。 (美術)</li> <li>● パワーポイントなどを用いて、学習課題に関する説明や注意点を提示する。 (保健)</li> <li>● スマートフォンを用いて、インターネットにある学習課題に関する画像や動画などを視聴させ、参考にさせる。 (保健、体育、数学)</li> <li>● 動画などを通して、作成の手順や衣食住に関する正しい理解を深めさせる。 (家庭)</li> </ul>

## 主体的・対話的で深い学びにおける ICT の活用法（まとめ）

	タブレット PC や授業支援ソフトに関すること	電子黒板やデジタル教科書に関すること	各種ソフト（パワーポイント等）やその他（ICT 機器などなんでも）のこと
対話的な場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業支援ソフトのグループ化機能を用いて、各自の考えを共有させる。（数学、音楽、理科、保健）</li> <li>● 授業支援ソフトのグループ化機能を用いて、実験や観察で記録した結果を共有させる。（数学、理科）</li> <li>● 授業支援ソフトを用いて、タブレット PC 画面に実験や観察の結果を提示し、学習課題に対する結論と考察を話し合わせる。（数学、理科）</li> <li>● 授業支援ソフトのグループ化機能を用いて、表現や鑑賞で記録した結果を共有させる。（音楽）</li> <li>● 授業支援ソフトを用いて、タブレット PC 画面に結果を提示し、学習課題に対する状況と改善点などを話し合わせる。（音楽）</li> <li>● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、問題に対する解き方をグループで比較させ、最適な解き方は何かを検討させる。（数学）</li> <li>● 個人で作成した紹介文やスキット、スピーチ原稿などについて授業支援ソフト（グループ化）を使ってグループ内で発表させる。また、互いの意見を比較させながら、付け加えたり修正したり練り上げさせ、よりよい発表原稿を作成させる。（英語）</li> <li>● タブレット PC を用いて動画で個人の動きや集団の動きを確認させ、お互いの動きについて、良い点や改善点などを話し合わせる。（体育）</li> <li>● 調理実習の計画をさせる際に、タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、何を作るか材料や量など、お互いに意見を交換させる。（家庭）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子黒板を用いて、グループで話し合ったことを提示し発表させる。（数学、理科、保健）</li> <li>● 電子黒板と授業支援ソフトの画面比較機能を用いて、各自が考えたことを、分類して提示する。（数学、音楽、理科）</li> <li>● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、各自の考えをグループ内で提示して話し合わせる。（数学）</li> <li>● 電子黒板を用いて、グループで話し合わせたり、演奏させたりしたものを提示し発表させる。（音楽）</li> <li>● 教科書 writing のところでペアやグループで質問させたり答えさせたりすることで他の意見を取り入れ今後の活動につなげさせる。（英語）</li> <li>● 英問英答だけでなく、それを用いた簡単な会話を作成させ、発表させることで会話の幅を広げさせる。（英語）</li> <li>● デジタル教科書の資料を使い、グループで話し合わせて学習課題に対する仮説を立てさせる。（社会）</li> <li>● 電子黒板とデジタル教科書を用いて、手順の確認をさせたり、考え方の違いを確認させたりする。（家庭）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エクセルなどの表計算ソフトを用いて、実験などで得られた結果をグループで検討させ、グラフ化させる。（技術、数学、理科）</li> <li>● パワーポイントなどのプレゼンテーションソフトを用いて、学習課題に対するグループのテーマや個人のテーマを相談させて作成させる。（技術）</li> <li>● パワーポイントや映像を参考にしながら、協力してけがの手当て等の実習を行う。（保健）</li> <li>● ワードなどの文字入力ソフトを用いて、課題について相談させながら画像処理や文字入力などを行わせる。（技術）</li> <li>● エクセルなどの表計算ソフトを使ってグラフ化した結果を電子黒板や各生徒のタブレット PC 画面に提示し、どんな結論が導き出せるのか、根拠は何かをグループで話し合わせる。（数学、理科）</li> <li>● 作成したデータを友人と比較し、良いところや修正したいところを検討させる。（技術）</li> <li>● 各生徒のタブレット PC 画面に学習課題に関する考えを提示し、どんな結論が導き出せるのか、根拠は何かグループで話し合わせる。（数学）</li> <li>● 模範となる演奏と録音や録画したものを比較させ、意見交換及び多様な考えに触れさせる。（音楽）</li> <li>● 鑑賞を通して、楽曲のもつ特徴を理解させ、比較を通して様々な価値に触れさせる。（音楽）</li> <li>● パワーポイントを使い視覚的な提示を行うことで、生徒に対してより具体的な発問をする。（社会）</li> <li>● パワーポイントを用いて共同的作業の機会を与え、達成感を味わわせる。（家庭）</li> </ul>

## 主体的・対話的で深い学びにおける ICT の活用法（まとめ）

	タブレット PC や授業支援ソフトに関すること	電子黒板やデジタル教科書に関すること	各種ソフト（パワーポイント等）やその他（ICT 機器などなんでも）のこと
<b>深い学びの場面</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、グループで共有した実験や観察の結果から、学習課題に対する結論と根拠を画面にまとめさせる。（理科）</li> <li>● 本時の学習のまとめに関するキーワードをいくつか黒板に提示し、タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、本時の学習内容をまとめさせる。（保健、数学、音楽、理科）</li> <li>● 本時で学習した内容に対して浮かんだ新たな疑問を、タブレット PC の画面にまとめさせる。（数学、理科）</li> <li>● 本時で学習した内容をこれまでに学んだ内容について、整理・統合できることや、発展させられることなど、新たに考えたことなどをタブレット PC の画面にまとめさせる。（数学）</li> <li>● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、グループで共有した演奏や感想等の結果から、学習課題に対する良かった点と改善点を画面にまとめさせる。（音楽）</li> <li>● タブレット PC を用いて課題についての練習を行わせ動画を撮影させる。その後、前時の動画と本時の動画を比べさせ、改善点や更にでた問題点について確認させる。（体育）</li> <li>● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて他の作品を撮影させ、表現が工夫されている点などを画面上に書き込ませる。（美術）</li> <li>● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて学習した内容を発表する。その際、発表者の画面を各生徒機の画面に提示し、発表する内容を見やすくさせる。（英語）</li> <li>● おもちゃや設計などを考える際に、タブレット PC を用いてよりよいものを作り上げさせる。（家庭）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子黒板と授業支援ソフトを用いて、各自が考えた内容や学習課題に対する結論と根拠を提示し、全体で確認させたり、意見交換させたりする。（数学、理科、保健、英語）</li> <li>● 電子黒板と授業支援ソフトを用いて、各自が学習した内容をもとに、学習課題に対する良かった点と改善点を提示し、全体で確認したり、意見交換させたりして自らの問題点に気づかせる。（音楽）</li> <li>● 電子黒板を使って、全体に発表する場面を設け、発表させる。</li> <li>● 他の発表を聞くことで新しい表現を学ばせ、互いに評価させることで自分自身の活動を振り返らせ、今後の活動につなげさせる。（英語）</li> <li>● 読み物資料を、映像で紹介し、教科の内容から社会的な問題まで、幅広く紹介する。（社会）</li> <li>● 電子黒板と PC やスマートフォンを接続し、制作中に撮影した写真や動画の中から、表現技法で工夫しているところなどを全体で紹介する。（美術）</li> <li>● 大型テレビとタブレット PC やスマートフォンを接続し、学習課題に関する資料や模範演技の画像や動画を視聴させ、参考にさせる。（体育）</li> <li>● タブレット PC に記載したものを、電子黒板に提示し、それをもとに自らの考えと照合させる。（家庭）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、本時のまとめを行う。（数学、理科、保健、体育）</li> <li>● 模範となる演奏と録音や録画したものを比較し、意見交換を行わせ、多様な考えに触れさせながら、グループでの話しあいを通してより高い演奏を目指す。（音楽）</li> <li>● 世界の国々の様子を紹介するときに、特徴がある映像を生徒に紹介する。（社会）</li> <li>● タブレット PC やスマートフォンなどを用いて、制作中の写真や動画を撮影しておき、表現技法で工夫しているところなどを全体で紹介する。（美術）</li> <li>● 動画や資料を実際の映像として確認させ、イメージとの違いに気づかせる。（家庭）</li> </ul>